

歴女がゆく

発見！私のイチ押し仏像 VOL. 3

府指定文化財

木造 薬師如来坐像

鎌倉時代／月輪寺蔵



2

仏像ZOOMUP! +

薬師如来は通例左手に薬壺とよばれる容器を持っている（飛鳥時代の古い像は、薬壺を持っていない場合もある）。薬壺には万病を癒す薬が入っていて、いくら使っても尽きることがないといわれている。死後に救われるのではなく、生きている間に救いの手を差し伸べてくれる薬師如来は、昔から人々の心の支えだっただろう。



1



お寺の静寂が好き。
暖かみのあるご本尊、木の香り、奥さんのお話…癒されます。



寺院はお庭も素敵。
4月下旬にはオオデマリが咲いていました。
鞠のようなお花を撮影。



今回紹介する木造薬師如来坐像（写真①②）は、月輪寺の本尊として祀られています。本尊にちなんでお寺も「やくしん」として親しまれています。

薬師如来は、その名の通り医薬を司る仏で、医王仏という別名もあり、病気を治し、安楽を与える仏とされます。本像は、13世紀初め頃の作と推定されており、像高は97センチあり、檜の寄木造となっています。左手に薬壺を持ち、右手は肘を曲げて手のひらを正面に向けて施無畏印（説法を聞く人の緊張を和らげるポーズ）を結んでいます。

今年は、6月8・9日（午前9時30分～午後5時）にかけて特別公開されますのでぜひ間近でご覧ください。



高野街道を歩くタイムトリップしたような気分。

近くには旧三日市交番があります（通常、土・日・祝日のみ開館）

今月の歴女

橋 真未さん

市役所で観光振興の部署に所属。観光ボランティアさんと接する機会が多く、カメラ片手に一緒にまち歩きすること。「普段何気なく通る場所に垣間見える歴史や文化は興味深いです」



▲天誅組石碑にもお立ち寄りください



三日市町駅から徒歩約9分▶特別公開のお問い合わせは月輪寺（☎62-3210）

仏像まめ知識 ③ 仏像の伝来

ガンダーラ地方で成立した仏像は、やがてインドにも伝わり、仏教を保護したグプタ朝（1世紀～3世紀）の時代に盛んに造られるようになりました。中国には早くも、1世紀頃の後漢の時代に伝わったとされ、やがて朝鮮半島を経て6世紀に日本にも伝わりました。その後、日本の仏像は時代によって様式が変遷することになります。



ガンダーラの仏像は顔立ちが西洋的でギリシャ彫刻の影響を受けている



広報かわちながの

平成25年（2013年）6月号（No.1076）